

2021年7月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2021年4、5月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気 新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している

長野県内景気 厳しい状況が続いているが、持ち直しの動きがみられる

4月の生産動向 生産は増加している

5月の個人消費 乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る

5月の公共投資 公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る

5月の住宅投資 新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を下回る

5月の雇用情勢 有効求人倍率は9カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナ変異株の広がりによる、経済への影響を注視する必要がある

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

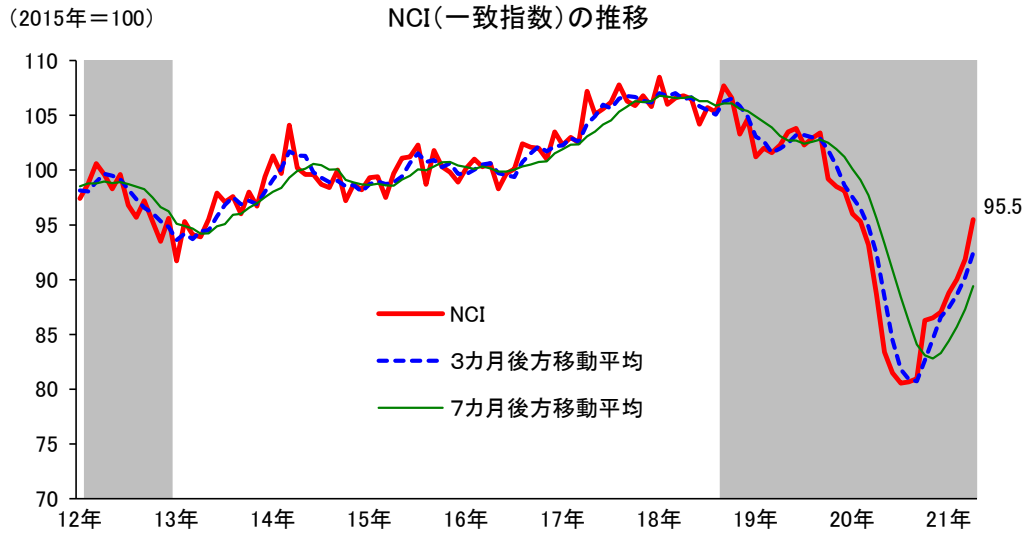
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

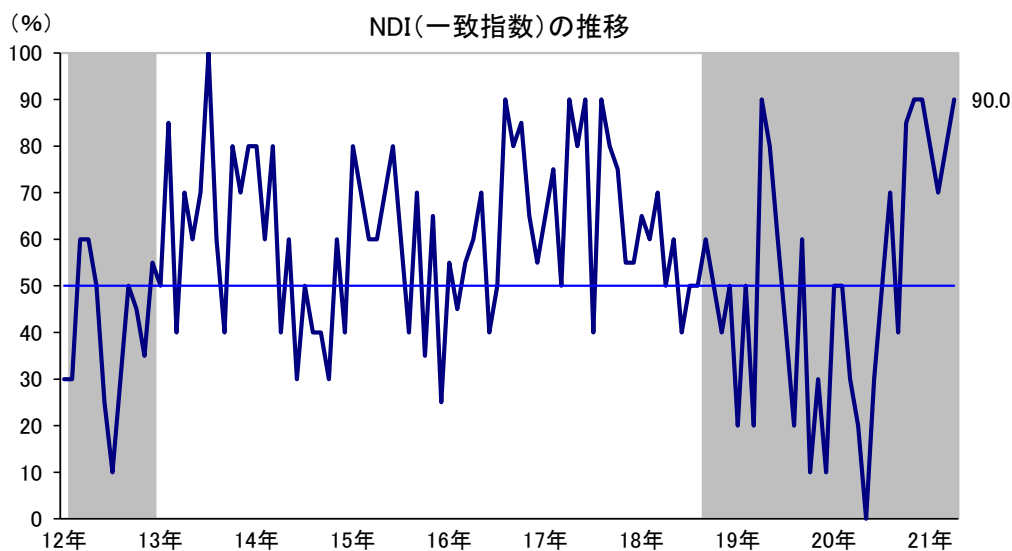


景気動向指数

- ・4月のNCI(一致指数)は、95.5と前月と比較し+3.6ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.2ポイントと7カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+2.1ポイントと5カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、90.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を7カ月連続で上回った。



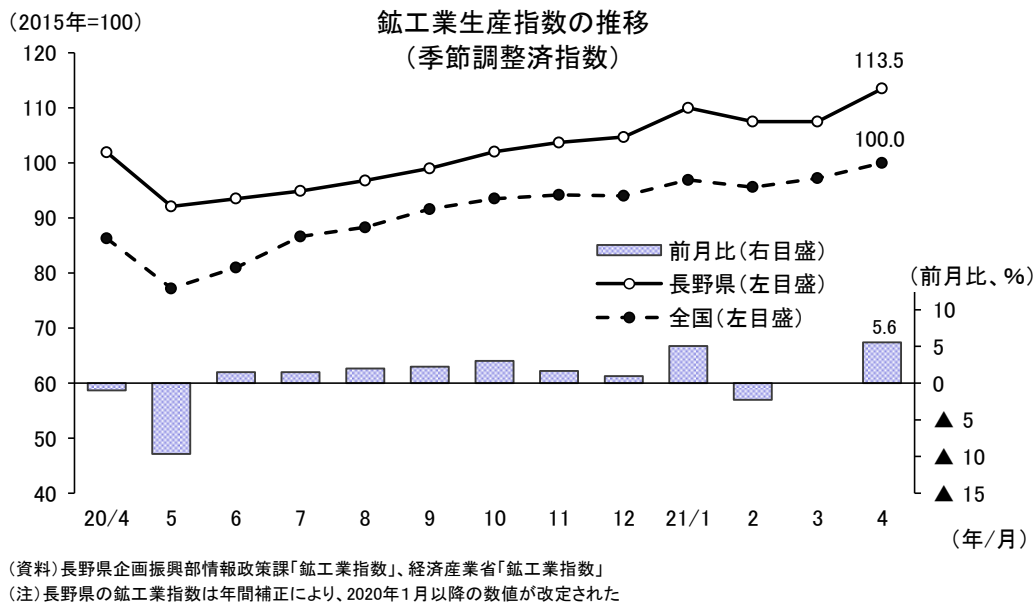
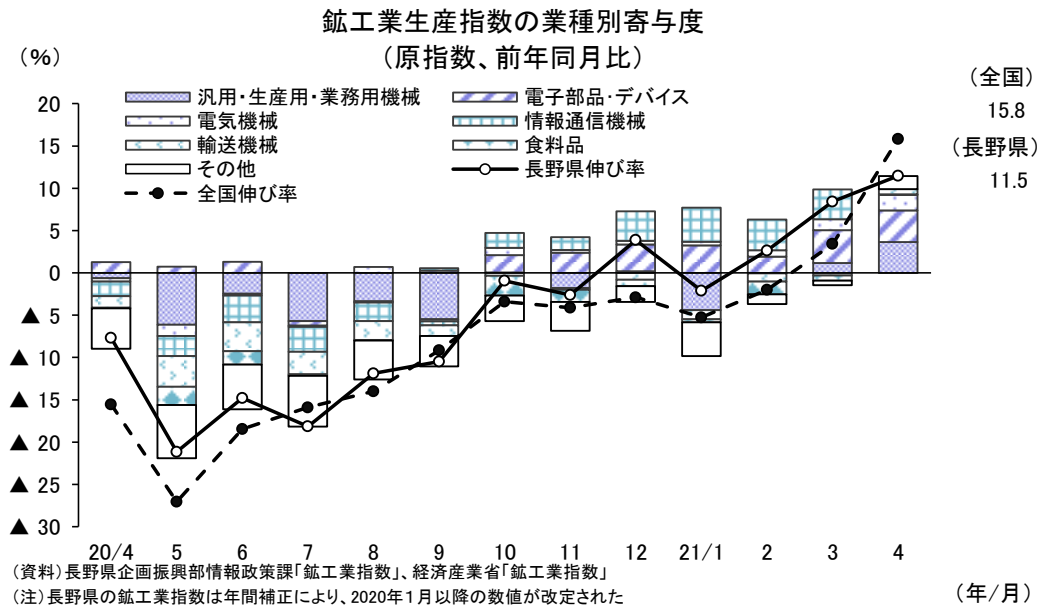
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

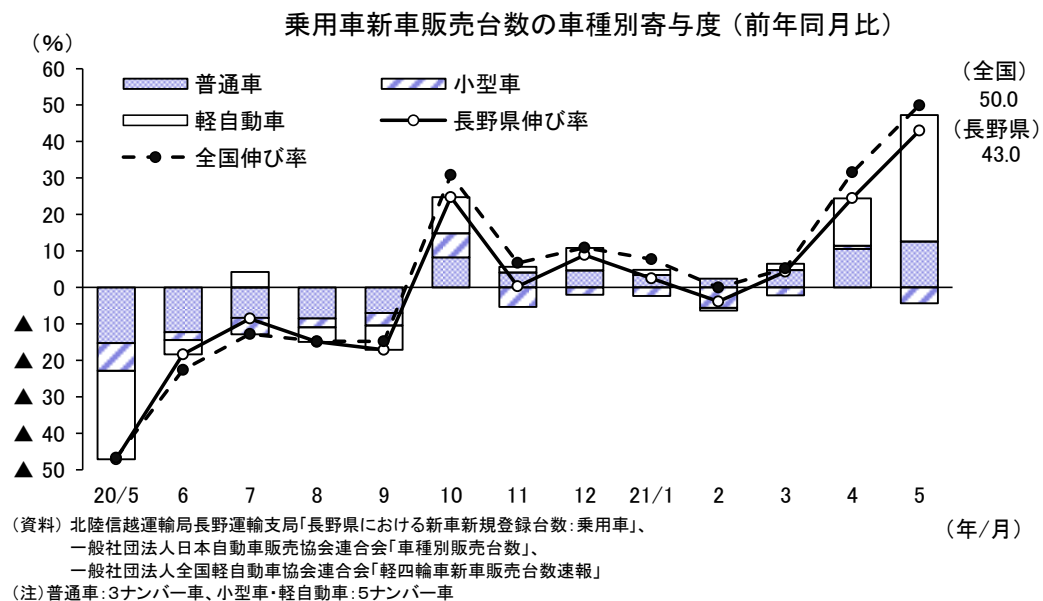
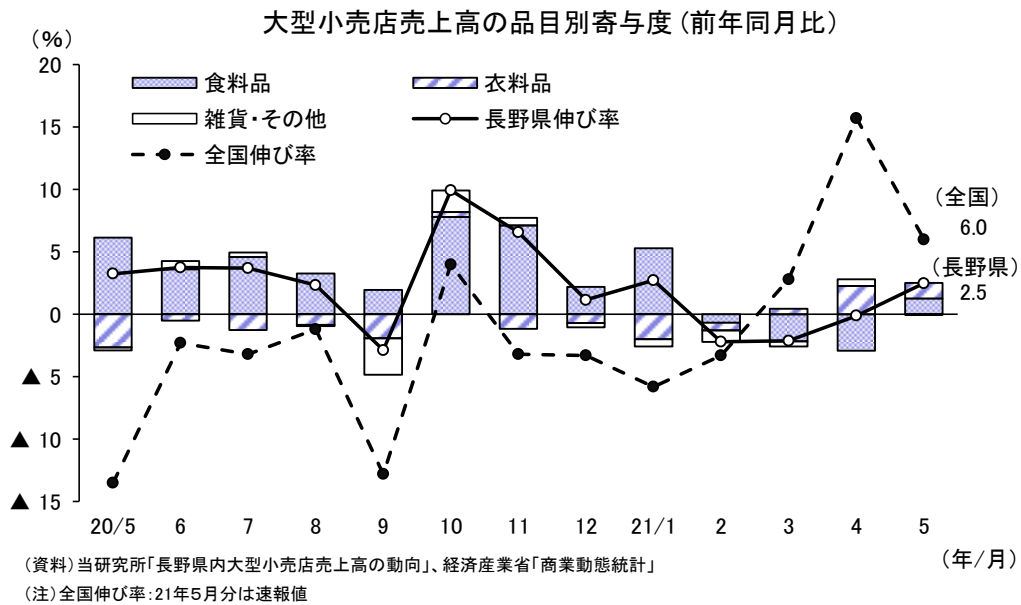
生産は増加している

- ・4月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+11.5%、季節調整済指数が前月比+5.6%となった。
- ・原指数は3カ月連続で前年を上回ったほか、季節調整済指数も3カ月ぶりに前月を上回った。中国や米国を中心とした外需の増加や内需の持ち直しにより、生産は増加している。
- ・主要業種別にみると、電子部品等の「電子部品・デバイス」や、産業用ロボット等の「汎用・生産用・業務用」など多くの業種で前年を上回った。



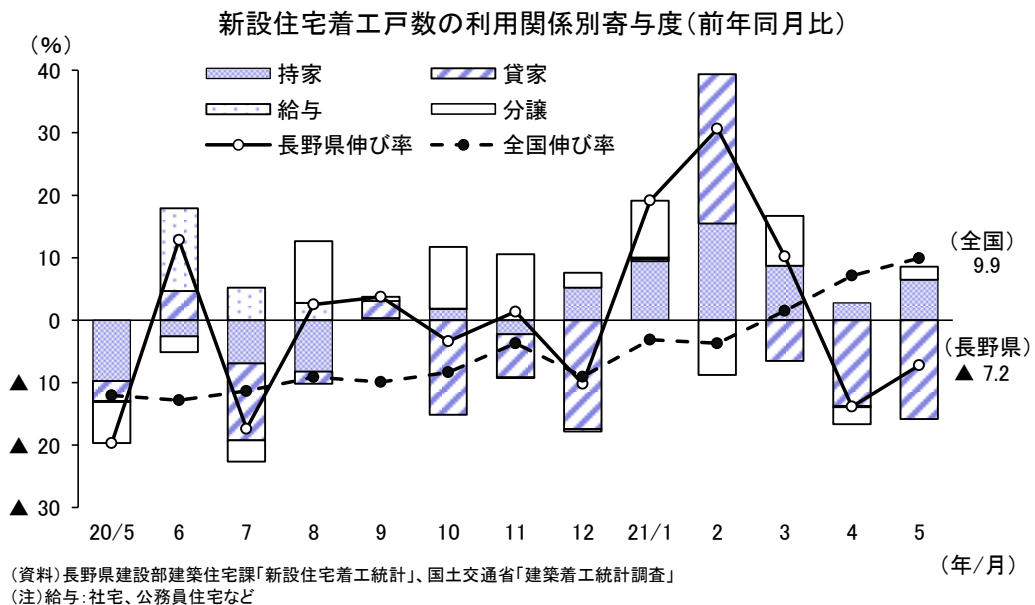
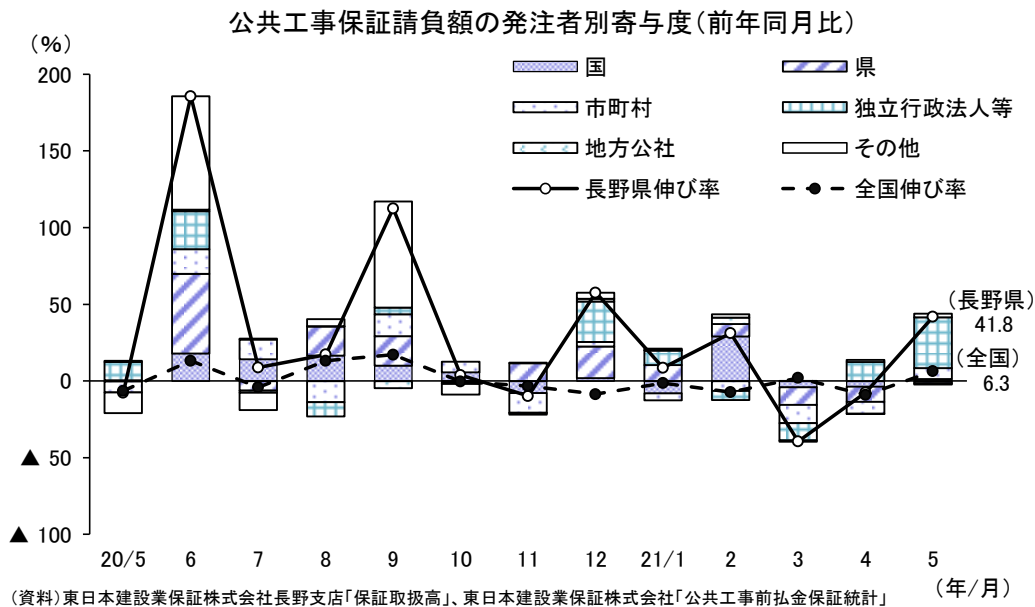
乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る

- 5月の大型小売店売上高は、前年同月比+2.5%（売場面積調整前）となり、4カ月ぶりに前年を上回った。食料品は、新型コロナウイルス感染防止のための内食需要が続いているほか、総菜などの売り上げも増加し、同+1.5%となった。衣料品は、緊急事態宣言による休店があった前年の反動で、同+32.6%となった。雑貨・その他は、日用雑貨の売り上げが伸び悩み同△0.4%だった。
- 5月の乗用車新車販売は、新型コロナの影響で落ち込んだ前年の反動で、前年同月比+43.0%と3カ月連続で前年を上回った。軽自動車は、室内空間が広い車種が好調で同+99.1%と3カ月連続で、普通車は同+44.4%と8カ月連続で前年を上回った。一方、小型車は同△11.8%と2カ月ぶりに前年を下回った。



公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を上回る

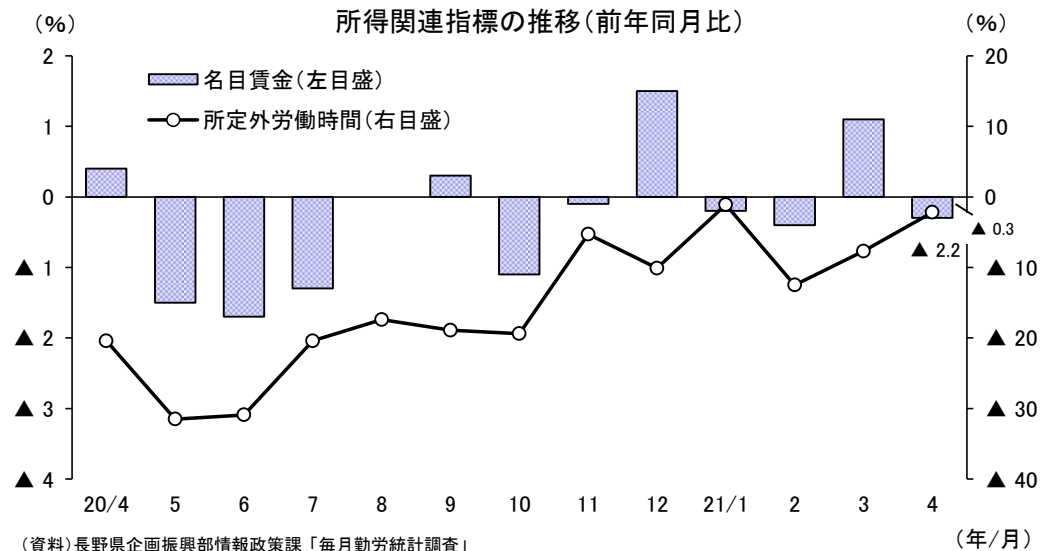
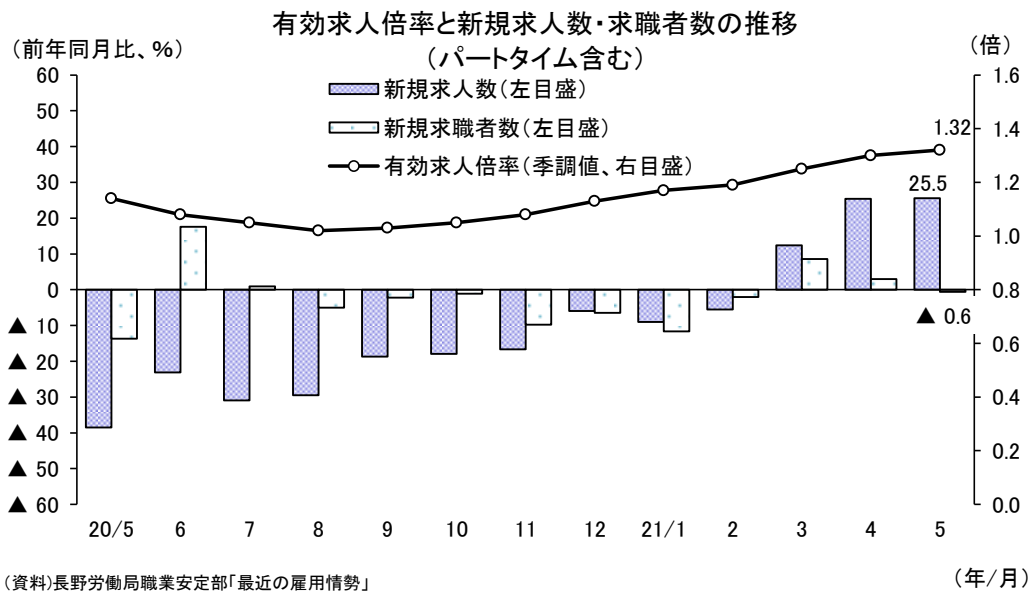
- 5月の公共工事保証請負額は、前年同月比+41.8%の378億9,800万円となり、3カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、県が同△4.3%と減少したものの、国が同+4.4%、市町村が同+43.8%、独立行政法人等が同+175.8%、その他が同+176.0%と増加した。
- 5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△7.2%の887戸と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同+12.1%、分譲が同+13.6%と増加したものの、貸家が同△50.8%と減少した。



雇用

有効求人倍率は9カ月連続で前月を上回る

- 5月の有効求人倍率は前月比+0.02ポイントの1.32倍と、9カ月連続で前月を上回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比+25.5%となり、3カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同+25.2%、パートは同+17.5%となった。主要産業別では、宿泊業・飲食サービス業が同+120.2%、製造業が同+53.0%、建設業が同+40.5%などと大きく前年を上回ったが、医療・福祉は同△9.2%と前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△0.6%と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 4月の名目賃金は前年同月比△0.3%と2カ月ぶりに前年を下回った。所定外労働時間は同△2.2%と13カ月連続で前年を下回ったものの、減少幅は縮小傾向にある。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は8カ月連続で全国を上回る

- 5月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比+0.04ポイントの1.17倍、東信が同+0.24ポイントの1.34倍、中信が同+0.14ポイントの1.11倍、南信が同+0.26ポイントの1.19倍となった。2年9カ月ぶりに全ての地域で前年を上回った。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯山と大町が1倍を下回った。長野以外の職業安定所は前年同月を上回った。
- 長野県の有効求人倍率は8カ月連続で全国を上回ったものの、順位は前月から3つ下げ15位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年5月)

地域	北 信(1.17) (前年同月比0.04)				東 信(1.34) (前年同月比0.24)		中 信(1.11) (前年同月比0.14)			南 信(1.19) (前年同月比0.26)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.23	1.17	0.98	1.16	1.29	1.39	1.12	1.49	0.84	1.18	1.19	1.21
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.08	0.11	0.10	0.29	0.35	0.13	0.12	0.12	0.20	0.33	0.36	0.11
うち常用	1.13	1.14	0.94	1.05	1.06	1.30	0.96	1.40	0.83	1.11	1.05	1.14
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.09	0.10	0.08	0.25	0.20	0.11	0.06	0.15	0.19	0.31	0.26	0.08

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

